

プレスリリース 2022.11.16

Collection exhibition コレクション展
**オノマトペで見つける、
ガラスの不思議**
Onomatopoeia
in Glass Art



ヴァーツラフ・レザーチュ 《White landscape》2018年 撮影：末正真礼生

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

展覧会概要

展覧会名	オノマトペで見つける、ガラスの不思議
会 期	2022 年 11 月 19 日（土）～2023 年 6 月 4 日（日）
会 場	富山市ガラス美術館 4 階 展示室 4、透ける収蔵庫（〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号）
主 催	富山市ガラス美術館
開場時間	9：30－18：00 ※1 月 2 日、3 日は 9：30－17：00 （金・土曜日は 20：00 まで、入場は閉場の 30 分前まで）
閉 場 日	第 1・3 水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 1 日） ※ただし、5/3（水・祝）は開場、5/10（水）は閉場
観 覧 料	一般、大学生 200 円（170 円）、高校生以下は無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金 ※本展観覧券でグラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます。 ※企画展の観覧券をお持ちの方は、本展およびグラス・アート・ガーデン（6F）も ご覧いただけます

展覧会について

今回のコレクション展では、ガラス造形の中に見られる”オノマトペ”に着目して、作品を紹介します。
“オノマトペ”とは、「とんとん」と戸を叩く音などを真似た「^{ぎおん}擬音語」、「どきどき」といった動作や心理状態などを表す「^{ぎたい}擬態語」などを総称したものです。小さな赤ちゃんから大人まで使える言語であると同時に、時として細やかに意思を伝えることを容易にする心強い役割も果たしてくれます。日本で暮らす私たちにとって、“オノマトペ”を織り交ぜて会話を交わすことは身近と言えるでしょう。

ではガラスにまつわる、“オノマトペ”とは、どのようなものがあるのでしょうか。割れたガラスの鋭利な破片から「トゲトゲ、チクッ」とした痛みを想起させるようなもの、ガラスのイメージの硬質で冷たいといった印象を覆す「ふわふわ、ぶくぶく」といった軽やかさ、熱せられ溶け落ちるガラスの「とろり、どろり」とした柔らかさ、あるいは、光が透過、反射したときの「キラキラ、ピカー！」としたイメージなど、作品にみるオノマトペに着目すると、ガラスがより身近に感じられるとともに、その表現の幅広さや可能性に驚くかもしれません。

この展示を通して、ガラスに表れる豊かな”オノマトペ”の数々を見つけながらガラスにまつわる不思議をたくさん発見してみてください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

1 トゲトゲ、チクッ

私たちの身の回りにあるガラスと言えば、コップや花瓶などでしょう。落として割ってしまった時に出会う破片のイメージは私たちの脳裏に強く印象付けられています。本セクションでは、脆い、危うい、鋭いといった素材にまつわるイメージに着目して作品をご紹介します。

2 ふわふわ、ぶくぶく

一般的にガラス素材の特徴として挙げられるのは、硬質で冷たいといったイメージかもしれません。本セクションでは、そのイメージを覆すような作品をご紹介します。板ガラスで立方体を作り、熱して軟らかくなったガラスに息を吹き込むことで膨らみ、自重によって捻れ、そして襞や皺が生まれ布のように軽やかな表現を見せる作品やガラスの粉と炭酸カルシウムなどを混ぜて焼成し、発泡しながら膨らむことでふわふわとした焼きたての食パンを想起させる作品など、今までのガラスのイメージからは想像できないような、柔らかさや温かみを感じさせる作品をご紹介します。

3 とろり、どろり

熱せられ溶け落ちるガラスの「とろっ、どろっ」とした柔らかい水あめのような姿は、私たちが普段見ることの出来ないガラスの表情の一つです。熱によって変化した、その神秘的な姿に、多くの作家が魅せられています。本セクションでは、1400度以上という高温やその温度で熱く溶けたガラスを扱う作家の緊張感やエネルギー、息遣いをも感じさせる作品をご紹介します。

4 キラキラ、ピカー！

私たちを魅了するガラスの特徴の一つに、光による反射が挙げられます。光の影響を受けてキラキラ、ピカー！と美しく輝く姿に、誰もが魅せられた経験があるでしょう。本セクションの作品を見比べると、反射という特性を活かした作品表現が、各作家の着眼点によってこれほどにも豊かで多岐にわたることに改めて気づかされるはずです。ぜひいったん立ち止まり、その反射した光の先にある知られざる魅力を発見しながらお楽しみください。

出品作家

ヴァーツラフ・レザーチュ、エルヴィン・アイシュ、角永和夫、クリスティーナ・ウスラー、神代良明、言上真舟、佐々木雅浩、菅澤利雄、高橋禎彦、中尾祐子、藤掛幸智、本郷仁、マルタ・クロノフスカ、室伸一

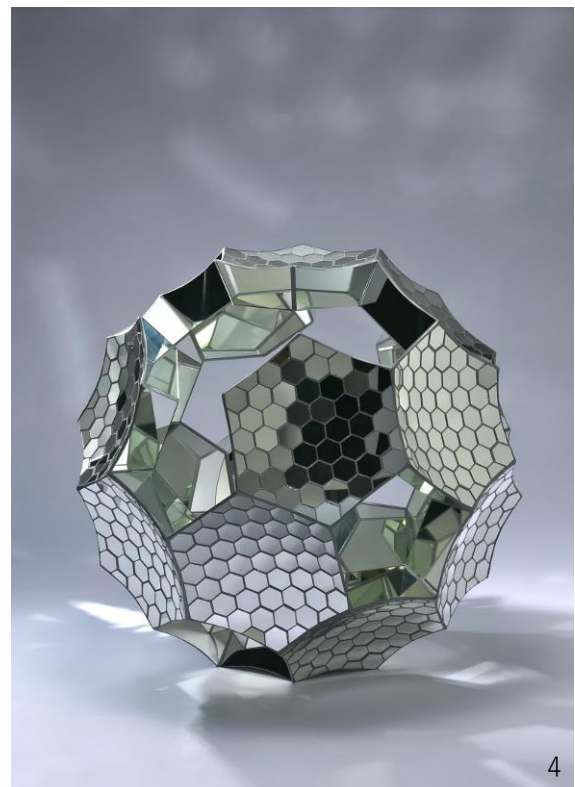
お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

出品作品（一部）



1. 言上真舟 《Scent of mist》2017 年 撮影：末正真礼生
2. 藤掛幸智 《Vestige》2018 年 撮影：岡村喜知郎
3. ヴァーツラフ・レザーチュ 《White landscape》2018 年 撮影：末正真礼生
4. 本郷仁 《Fragments》2008 年 撮影：岡村喜知郎

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

関連プログラム

ギャラリートーク

参加無料 申し込み不要

日 時：2022 年 11 月 27 日（日）、12 月 11 日（日）、24 日（土）、2023 年 1 月 8 日（日）、28 日（土）
2 月 5 日（日）、18 日（土）、3 月 ~~11 日（土）~~、19 日（日）、21 日（火・祝）、4 月 1 日（土）、
23 日（日）、5 月 6 日（土）、28 日（日）、6 月 4 日（日） 各回午後 2 時より開催

※3 月 11 日は中止とし、3 月 21 日開催となりました。

会 場：富山市ガラス美術館

- 事前申し込みは不要です。
- 展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
- 関連プログラムの詳細は、美術館ウェブサイトや SNS などでお知らせします。
- プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。
- 最新の情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください。

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館概要



5



6

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「グラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「グラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のグラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

交通アクセス

〔富山駅より〕○徒歩20分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩1分
○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩2分（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約10分）

〔富山空港より〕○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩4分

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館公式 SNS アカウント



Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Facebook

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310 E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp (代表)

広報担当：西谷、小谷 展覧会担当：浅田

広報用画像の貸出しについて

p.4、6 の画像 1～6 を広報用に貸出します。ご希望の方は、p.8 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたは Fax にて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者：

Tel：

Fax：

E-mail：

住所：

団体名：

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「オノマトペで見つける、ガラスの不思議」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ ）

3. 掲載の趣旨

別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：

5. ご希望の画像番号：

○ 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。

○ 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。

○ 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。

○ 商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○ 画像の2次使用はご遠慮ください。

※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。

○ 校正ゲラの段階で情報の確認をさせてください。

○ 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp